





判明した。すべてが整えば商業施設も考慮した事業者を募集する。できれば歩道を踏切まで伸ばし見通しもよくし、防災広場として備蓄もできるようにしたい

◆自治 大中遺跡北側の出口は歩道がないので歩きにくい

◆行政 狐狸ヶ池の西側の一部は整備している。限られた財源の中、優先順位も考え順次進めていきたいと思う



# 町長と語るうらやま

問合せ 企画グループ☎079(435)0656

## 参加団体 とびつきり遊歩



9月26日(木) 10:00~11:20  
テーマ「これからのまちづくり」  
参加者15人

参 「であいのみち」を歩いていると、自転車とすれ違うとき危ない。通れないように規制できたら安心して歩ける

町 規制はできないが、注意喚起の看板は設置できるかと思う  
参 自転車教室などとしてはどうか。小さい子どもがいるお母さんなどは横断歩道でも自転車専用レーンを渡らず、車道でも左側通行していないことがある  
町 小学3年生を対象に交通公園で毎年自転車教室を実施しており、高齢者にも交通安全教室を実施している。幼稚園では親子で参加していると

思うが、親にも周知させるようにする  
参 新幹線の下も自転車が通りやすくなっているが、夏は歩く人も多いので危ない  
町 車道が狭いので自転車は歩道を通る。浜幹線事業を進めており、播磨保育園から二見までの歩道は現在の規格でするので余裕がある。26年度中には完成するので、通勤車両などの生活道路への進入も解消されると思う  
参 高齢者が立ち話できるような木陰がない。買い物途中などでコミュニケーションをとれる場所があればと思う。であいのみち以外は緑が少ない。緑の多い街づくりに目指して欲しい  
町 道路では、街路樹にも配慮している。大池は公園の計画を立てている。阿閉漁港の埋立地も芝生にして、軽スポーツなどができるような広場に整備する  
参 播磨町駅前には商業施設が少ないから暗く感じられる  
町 セフレ播磨の2階は行政が確保し、メディアカルフロアとして好評を得ている。1階は行政のものではないので、賑わいに関しては所有者の意

向による。土山駅南にある町有地5千平方メートルは土壌改良をして事業者を募集する。駅前には播磨町の顔にもなるので、売却はせず、賃貸にすることで町が関与できる状態にしておく。駅利用者や周辺住民の利便性が増し、都会から帰ってきてほっとするような空間を作りたい。なにか要望があれば言ってもらいたい  
参 大ホールが中央公民館しかないの、コスモホールのような音響施設がしっかりしたものを造って欲しい  
町 文化サークルがブームだったとき兵庫県下でもたくさんホールができたが、現在、平日は閑散としている状態と聞いている。以前中央公民館を文化ホールとしてやり直す話があったが、アンケートをとると日常的に使えなくなることや料金設定が高くなることから、グレードアップしながら今のホールを使いたいとのことだった。今まで空調の整備、外壁塗装、照明、エレベーターの設置などをしてきている。昨年も公民館活動が文科省からも表彰された  
参 中央公民館はいつも予約で埋まっていて使えない

町 いきいきセンターの3階も利用していただければ。節約の甲斐があつて財政調整基金も多く保有している。健全な財政を維持しながら無駄なハコモノはつくらず、必要なところには投資したい。しかしながら、文化ホール建設は時代にあわないのではと思う  
参 今後、花火大会をする予定はないのか  
町 花火大会をするには広い場所が必要。明石市の事故以降、警察の規制が厳しくなり播磨町でするのは難しい。また費用面からも厳しい  
参 大きな病院はどこも遠い。町内バスを走らせ、「かバス」や「たこバス」と連携できるようにしてはどうか  
町 狭い町でも足は必要だと思ひ、地域公共交通会議を立ち上げ、コミバスを走らせるルート、停留所、料金もすべて決めていたが議会で否決された。その後の方針が変わってしまった。今は路線バスを補助して増便や延伸してもらっている。近隣の乗り入れも試算してもらったがかなり高額であり、実施は困難と判断した  
参 普段は気軽に意見を言え

ないので、今回このような場を設けていただいていたうれしい  
町 こちらも行政がしていることを正しく伝えられてうれ

しい。事業や場合によってはできない理由も知ってもらいたいと思うている

ればお互い気を使ってしまう。モデルケースとして長野県が挙げられているが、兵庫県ではなかなか難しい。1970、80年くらいまでは、近所ともよく関わっていたのだが

し生涯学習にも配慮した全世代への支援となる事業をしている  
参 小中学校の運動会で、テントのある学校とない学校があるのはなぜか  
町 テントはPTA会費で賄っている。近年猛暑の日も多いので、保護者も理解しやすいと聞いている。各学校で設置しているためすべての学校が同じ状況ではない  
参 喜瀬川沿いの旧浜国の近くにある公園の木々が茂っているの、剪定してほしい。民家も少ないので怖く、子どもが遊ぶにしても危険  
町 担当部署に現場を確認させ判断させる

ので、この機会に参加してもらいたい  
参 高齢者の対処を、ある程度自治会などで前もって話しておくべきだと思う  
町 自治会には自主防災組織があり、町からも毎年補助をしている。組織が中心となって地域の要援護者、支援者のことも考えてもらいたいと思っている。南海トラフ地震が発生して、さらに山崎断層なども連動するかもしれない。日ごろからの備えが大事なので耐震補強や家具の固定などをしてもらいたい。住宅リフォーム助成もしているので、利用してもらいたい。地震の揺れをやり過ぎれば、播磨町の場合、津波到達時間まで109分あるので、避難する時間はあると思う  
参 阪神淡路大震災で被災したが、一番頼りになったのは近所の人たちだった。消防や警察、自衛隊の人たちは、がれきに阻まれ一人ひとりのところまで来るのに時間がかかってしまう  
町 体験をいろんな人に伝えていただきたい。経験者の言葉には重みがあり、生の声は人々の心に響くのでは

## 参加団体 播磨町ごまな合



10月1日(火) 12:40~13:40  
テーマ「これからのまちづくり」  
参加者16人

参 播磨町にグループホームのような施設があればと思う  
町 第6次高齢者福祉計画に基づき、特別養護老人ホームやケアハウスを整えている。デイサービス事業者も多い。グループホームは、現在1カ所あるがコープの奥にも一つできると聞いている。日常に近い生活することによって症状が改善されたり、認知症を遅らせることもできるのだと思う。ただ町が設置する

のではなく、町の計画に基づき公募し、事業者の建設費を補助する形をとっている。今、高齢化率は22・8%くらいになっている。播磨町は比較的若い町と言われているが今後高齢化は避けられない。公民館活動や、ことぶき大学など外に出て、生きがいとなるものを見つれたり、人と人とのふれあいを多くしてもらったら、元気で年を経ることも可能だと思う  
参 民生委員で独居がある程度、把握しようと思うができない。地域の中で、本人も周りの人もお互いを意識して、関心を持つようにしなければならぬ。いずみ会では、一皿運動を展開していて、一皿多く野菜を採りましょう、一皿を独居の方へおすそ分けしましょうとしていますが、おすそ分けは今まで行き来がなけ

いかもしれない  
参 去年、金婚式でいろいろな貰ったが、播磨町からそういうものはないのか  
町 金婚式は新聞社が各エリアで募集しているもので、町の事業ではない。町では長寿の方に祝い金や祝品などを贈っている  
参 若い人が結婚して播磨町に住んだときに、援助などはあるのか  
町 子育てにも力を入れている。特定不妊治療の助成や赤ちゃんの駅の設定、父子手帳の配布、ほか医療費助成など以前と比べかなり充実させている。教育では学校のプールや体育館などの施設も順次改修し、今年各教室に扇風機やミスト装置も設置した。中央公民館もエアコン、エレベーター、外壁、照明などを改修

が文科省からも表彰された  
参 中央公民館はいつも予約で埋まっていて使えない  
町 生涯学習にも配慮した全世代への支援となる事業をしている  
参 小中学校の運動会で、テントのある学校とない学校があるのはなぜか  
町 テントはPTA会費で賄っている。近年猛暑の日も多いので、保護者も理解しやすいと聞いている。各学校で設置しているためすべての学校が同じ状況ではない  
参 喜瀬川沿いの旧浜国の近くにある公園の木々が茂っているの、剪定してほしい。民家も少ないので怖く、子どもが遊ぶにしても危険  
町 担当部署に現場を確認させ判断させる  
参 避難場所は津波のことを考えると地区で決められた播磨中学校より、大中遺跡の方がいいかと思うが  
町 大中遺跡の方が標高が高い。避難所が自宅の2階や避難ビルか、そのときに応じて行動してもらいたい。長期間に及ぶ場合は避難場所のほうに仮設トイレや備蓄もあり、後の物資も速やかに届けられるのでもいいかと思う。「はりま津波ひなんウォーキング」も遺跡まつりと同時に開催する

町 避難場所には自主防災組織があり、町からも毎年補助をしている。組織が中心となって地域の要援護者、支援者のことも考えてもらいたいと思っている。南海トラフ地震が発生して、さらに山崎断層なども連動するかもしれない。日ごろからの備えが大事なので耐震補強や家具の固定などをしてもらいたい。住宅リフォーム助成もしているので、利用してもらいたい。地震の揺れをやり過ぎれば、播磨町の場合、津波到達時間まで109分あるので、避難する時間はあると思う  
参 阪神淡路大震災で被災したが、一番頼りになったのは近所の人たちだった。消防や警察、自衛隊の人たちは、がれきに阻まれ一人ひとりのところまで来るのに時間がかかってしまう  
町 体験をいろんな人に伝えていただきたい。経験者の言葉には重みがあり、生の声は人々の心に響くのでは

町 播磨町にグループホームのような施設があればと思う  
町 第6次高齢者福祉計画に基づき、特別養護老人ホームやケアハウスを整えている。デイサービス事業者も多い。グループホームは、現在1カ所あるがコープの奥にも一つできると聞いている。日常に近い生活することによって症状が改善されたり、認知症を遅らせることもできるのだと思う。ただ町が設置する

町 規制はできないが、注意喚起の看板は設置できるかと思う  
参 自転車教室などとしてはどうか。小さい子どもがいるお母さんなどは横断歩道でも自転車専用レーンを渡らず、車道でも左側通行していないことがある  
町 小学3年生を対象に交通公園で毎年自転車教室を実施しており、高齢者にも交通安全教室を実施している。幼稚園では親子で参加していると

町 いきいきセンターの3階も利用していただければ。節約の甲斐があつて財政調整基金も多く保有している。健全な財政を維持しながら無駄なハコモノはつくらず、必要なところには投資したい。しかしながら、文化ホール建設は時代にあわないのではと思う  
参 今後、花火大会をする予定はないのか  
町 花火大会をするには広い場所が必要。明石市の事故以降、警察の規制が厳しくなり播磨町でするのは難しい。また費用面からも厳しい  
参 大きな病院はどこも遠い。町内バスを走らせ、「かバス」や「たこバス」と連携できるようにしてはどうか  
町 狭い町でも足は必要だと思ひ、地域公共交通会議を立ち上げ、コミバスを走らせるルート、停留所、料金もすべて決めていたが議会で否決された。その後の方針が変わってしまった。今は路線バスを補助して増便や延伸してもらっている。近隣の乗り入れも試算してもらったがかなり高額であり、実施は困難と判断した  
参 普段は気軽に意見を言え

町 生涯学習にも配慮した全世代への支援となる事業をしている  
参 小中学校の運動会で、テントのある学校とない学校があるのはなぜか  
町 テントはPTA会費で賄っている。近年猛暑の日も多いので、保護者も理解しやすいと聞いている。各学校で設置しているためすべての学校が同じ状況ではない  
参 喜瀬川沿いの旧浜国の近くにある公園の木々が茂っているの、剪定してほしい。民家も少ないので怖く、子どもが遊ぶにしても危険  
町 担当部署に現場を確認させ判断させる  
参 避難場所は津波のことを考えると地区で決められた播磨中学校より、大中遺跡の方がいいかと思うが  
町 大中遺跡の方が標高が高い。避難所が自宅の2階や避難ビルか、そのときに応じて行動してもらいたい。長期間に及ぶ場合は避難場所のほうに仮設トイレや備蓄もあり、後の物資も速やかに届けられるのでもいいかと思う。「はりま津波ひなんウォーキング」も遺跡まつりと同時に開催する

町 避難場所には自主防災組織があり、町からも毎年補助をしている。組織が中心となって地域の要援護者、支援者のことも考えてもらいたいと思っている。南海トラフ地震が発生して、さらに山崎断層なども連動するかもしれない。日ごろからの備えが大事なので耐震補強や家具の固定などをしてもらいたい。住宅リフォーム助成もしているので、利用してもらいたい。地震の揺れをやり過ぎれば、播磨町の場合、津波到達時間まで109分あるので、避難する時間はあると思う  
参 阪神淡路大震災で被災したが、一番頼りになったのは近所の人たちだった。消防や警察、自衛隊の人たちは、がれきに阻まれ一人ひとりのところまで来るのに時間がかかってしまう  
町 体験をいろんな人に伝えていただきたい。経験者の言葉には重みがあり、生の声は人々の心に響くのでは